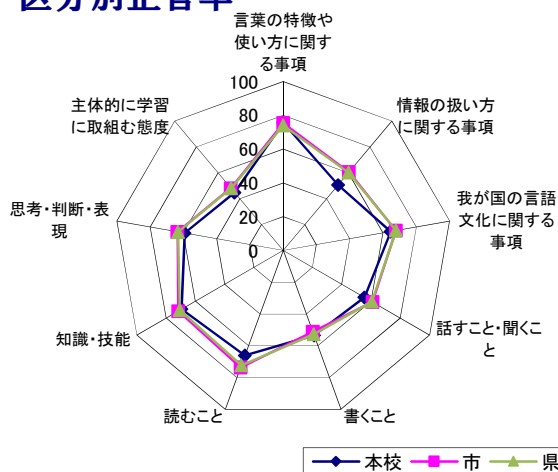


宇都宮市立宝木小学校 第5学年【国語】分類・区別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	言葉の特徴や使いに関する事項	75.6	75.4	74.1
	情報の扱いに関する事項	50.7	60.5	60.2
	我が国の言語文化に関する事項	64.6	67.7	67.8
	話すこと・聞くこと	55.6	61.0	60.7
	書くこと	53.4	51.2	52.8
	読むこと	66.1	73.7	72.4
観点	知識・技能	69.5	71.7	70.6
	思考・判断・表現	59.2	63.5	63.2
	主体的に学習に取り組む態度	44.8	48.2	48.1



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
言葉の特徴や使いに関する事項	平均正答率は県、市ともに上回っている。 ○4年配当漢字を書いたり読んだりする問題は、正答率が8割以上であり、ほとんど県の平均を上回っていた。 ●連体修飾語を答える問題の正答率は65.6%であり、県の平均の71%を大きく下回った。	・既習漢字や文法などの基礎的な知識をより定着させるため、朝の学習等での漢字ドリルを使った学習やプリント学習を、意図的に設けていく。 ・主語、述語、修飾語といった文法に関する問題の正答率が低いことから、教科書の文章を音読する際に文章の構造に触れ、補足説明をしていくことで、文法に目を向けて読んだり、書いたりできるように指導していく。
情報の扱いに関する事項	平均正答率は県、市の平均を大きく下回った。 ●漢字辞典の使い方に関する問題の正答率は県の平均が80%であるのに対し、本校は74%と下回っている。複数の情報の関係について理解し、中心となる語や文を使って要約したりまとめたりする力に課題が見られる。無回答も多い。	・漢字ドリルと漢字辞典を併せて使用し、新出漢字を学習する時間を設ける。50音順、画数順など漢字辞典の基本的な使い方を、繰り返し実践していくことで身に付けていく。またタブレットといった電子機器での効率的な調べ方も、指導していく。 ・情報を分析、比較、整理するための時間をとり、指導をする。見つけた情報を読むだけでなく、要約したり自分の考えを表現したりするために使えるようにする。
我が国の言語文化に関する事項	平均正答率は県、市の平均と比べやや低い。 ○無回答の児童は0%であった。 ●ことわざの意味を正確に理解し、正しく使う設問に対する正答率は64%で、県に平均を3ポイントほど下回った。	・国語以外の教科や日常会話の中で使用例を示し、意味を確認していくことで子供たちのことわざや四字熟語、慣用句の語彙を増やしていく。また、自主学習でことわざや文章中の言葉の意味を調べる学習に取り組めるように指導していく。
話すこと・聞くこと	平均正答率は県、市の平均を5ポイント下回った。 ○話し手が伝えたいことの内容を捉える設問の正答率は85%。話の中心を明確にする話し手の工夫を捉える設問は89%であり、県や市の平均とほぼ同等である。 ●意見の共通点、相違点に着目して、筆者の考えをまとめて考える設問の正答率は35%であり、県の平均の42%を大きく下回った。	・他者の意見や調査結果の内容を読むときは、共通点や相違点に着目して読み比べるように指導する。 ・発表するときや文に書くときの定型文、流れを繰り返し指導し覚えさせることで、普段の会話のなかでも、構成を意識して話すことができるようになる。
書くこと	平均正答率は県の平均とほぼ同等である。 ○段落の役割について理解し、二段落構成を守って書くことができている児童は57%であり、県の平均である53%を上回った。 ●内容の中心を明確にし、読み取った事実と自分の考えを、指定された長さで書く設問の正答率は県の平均よりも低い。	・無回答の児童の割合が高いので、「書く」授業の他にも、振り返りや感想を書かせるときなどには、必要な単語、大体の定型文を示したうえで文章を「書く」ことを意識的に増やしていく。 ・テーマや条件を守って定型文に当てはめて書き始めることができるようにする。指定された長さで文章を書けるようにするために文をつなげるための接続詞や時系列にそった文章構成など、ポイントを示して書くことができるように支援していく。
読むこと	平均正答率は、県、市の平均よりも4ポイント低い。 ○全体的な文の内容を読み取り、叙述から登場人物の気持ちを答える設問の正答率は、県の平均と同等である。 ●叙述を基に文章の段落の相互関係を捉えたり、中心となる語や文を見付けて要約したりする問題の正答率は低かった。	・長文に慣れるために、本を読む機会を増やしていく。 ・授業では物語文など「読む」活動の際には、叙述から登場人物の行動や気持ちを想像して読んだり、言葉で表したりできるような授業展開を設定していく。